

令和3（2021）年度 第3回子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 令和4（2022）年3月23日（金） 14:00～15:30
- 会 場 元気館2階 会議室
- 出席委員 植木会長、宮下副会長、小黒委員、木下委員、川本委員、大倉委員、
高橋委員、松谷委員、小林委員、石川委員、西巻委員 11人
- 欠席委員 村井委員 1人
- 事務局 石黒子ども未来部長
（子育て支援課）早津課長、小池課長代理、中村係長、石橋係長、常盤主査
（保育課）田辺課長、栗林課長代理
（子どもの発達支援課）小林課長
（福祉課）尾崎課長、西巻係長 11人

1 開会 司会：子育て支援課主査

2 挨拶 会長

3 議題 司会進行：会長

・総括表（令和3（2021）年度 取組評価・実績）に基づき各担当者より説明

・総括表1～4 ①、② 教育・保育給付、地域子ども・子育て支援事業について

事務局：①施設型給付

②地域型保育給付

(1)一時預かり事業

(2)延長保育事業 について説明

【意見・質問なし】

・総括表5～8 地域子ども・子育て支援事業について

事務局：(3)病児保育事業

(4)利用者支援事業（母子保健型）

(5)妊婦健康診査

(6)妊産婦・新生児訪問及びこんにちは赤ちゃん事業 について説明

委 員 「利用者支援事業」の次年度の取組で、産婦健診及び産後ケア（宿泊型）事業を医療機関に委託するとのことだが、柏崎市総合医療センターで行うのか。また、費用はどのようなのか。

事務局 予算決議前で予定ではあるが、産婦健診の8割という実績を踏まえて柏崎市総合医療センターとの契約を考えている。費用に関しては県内の実施11市町村の状況を踏まえ、1回1万円を考えている、また、非課税世帯は負担が無いように考えている。

委 員 良い事業だと思う。費用も安く設定していただけるようなので期待している。

委員 「病児保育事業」でムーミンハウスの利用者が増えているが、要因は何か。

事務局 昨年度は新型コロナウイルスの影響で利用控えがあった。今年度は感染対策を実施したうえで通常の利用体制が確保できたので利用増となった。

・総括表 9～13 地域子ども・子育て支援事業について

事務局 (7)乳幼児健康診査

(8)児童虐待防止事業

(9)家庭児童相談事業

(10)養育支援訪問事業

(11)養育支援事業（育児支援ヘルパー） について説明

委員 「児童虐待防止事業」で、柏崎市では深刻な児童虐待やヤングケアラーの事例はあるか。虐待防止に子ども食堂が非常に役に立っていると聞いている。柏崎にも子ども食堂があるようだが、虐待防止との関わりについて聞きたい。

事務局 柏崎では死亡など重大な事例は無いが、虐待相談昨年度 91 件、今年度は 75 件であった。虐待に至る前の養育相談が昨年度 195 件から今年度 224 件に増えている。虐待に至る前に、相談や各機関からの連絡により事前に対応していると認識している。
また、子ども食堂が虐待防止に関わったという報告は受けていないが、家庭でのストレスや経済的不安から虐待に発展する場合もあるため、子ども食堂の存在がストレスや経済的不安の低減に活かされていると思われる。

委員 地域との関わりにつながると思うのでそういった目線で見えていただきたい。

会長 子ども食堂の活動については気になっていたので今後当事者のオブザーバー参加も検討いただきたい。

委員 「児童虐待防止事業」で次年度の取組として、「ヤングケアラーの啓発及び実態把握に向けての取組を検討する」とあるが、現時点で実態把握をしているのか。

「児童虐待防止事業」「家庭児童相談事業」関連で、県から SNS のチラシが配布されており、非常時子どもが直接連絡できるようになっているようであるが、連絡が入った場合、市と県で連携されているのかどうか。また、市のほうでも同様のシステムの構築の予定はあるのか。

事務局 「ヤングケアラーの啓発及び実態把握に向けての取組」であるが、来年度、国・県からもヤングケアラーの啓発に力を入れたいとの話を受けている。チラシも今後届くとのことで関係機関への周知・啓発に使っていききたい。また、ヤングケアラーの研修会を取り入れていきたいと考えている。

実態把握の取組について、国・県で実態把握の調査は行っているが、柏崎市としてはまだ行っていない。また、調査をするに当たって、調査対象をどのようにするか、調査結果をどのように反映していくのかを検討したうえで必要な調査を適切な時期に行っていきたいと考えている。

子どもからのSNSの連絡が県と連携しているかとのことについては、柏崎市では要保護児童対策地域協議会に長岡児童相談所が委員として入っており、相談があったときには児童相談所と協議会の事務局である柏崎市とで連携しながら情報共有・支援している。

会 長 ヤングケアラーの自治体ごとの調査結果は出てこないのか。

事務局 いくつかの市町村を単位としての結果は市にも届いている。

委 員 子ども食堂について、先ほどの答弁で経済的負担とあったが、それを謳っているのは子ども食堂に来る人はいない。経済的ということだけでなく、学校に馴染みにくい子ども達が友達同士で誘い合って来て元気に遊んでいるのを見ると、心の交流ができていると感じられる。また、学校保健室の先生との話し合いの中でヤングケアラーの発見につながる事例があった。

事務局 子ども食堂には、地域の交流など重要な要素がある。表現が適切でなかった。ヤングケアラーの調査・支援について、学校という存在は重要であり、連携しながら進めていきたい。

事務局 子ども食堂について把握していることについて紹介させていただく。柏崎市内には7団体ある。ただし、コロナ禍の影響もあり不定期な開催、活動を休止している団体があるのが現状である。

会 長 子ども食堂の実態についての報告があったが、コロナ禍の影響が柏崎市の団体だけに限らず全県的に報告されている内容だと思う。コロナ禍が及ぼす運営の実情について、機会を設けて報告していただきたい。

・総括表14～18 地域子ども・子育て支援事業について

事務局：(12)子育て短期支援事業

(13)ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

(14)地域子育て支援拠点事業

(15)放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

(16)子どもの遊び場整備事業

について説明

【質問・意見なし】

・総括表19～22 地域子ども・子育て支援事業について

事務局：(17)子育て応援券事業

(18)医療費助成事業

(19)実費徴収に係る補足給付を行う事業

(20)多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

について説明

委 員 市の事業に「子どもの屋内遊び場施設利用券事業」というものがあるが、利用できる施設が掲載されておらず、キッズマジックのことと思われるが、そこだけしか利用券は使えないのか。柏崎市にはこども自然王国や夢の森公園などでいろいろな施設があるが、そのよ

うなことに使えれば利用範囲が広がると思う。

事務局 「子どもの屋内遊び場施設利用券」事業について、柏崎市内にある民間の屋内遊び場有料施設を対象に施設利用券を交付する事業であり、現在キッズマジックのみで利用できる利用券となっている。キッズマジック以外にも有料の屋内施設が今後出てくれば、そこでも使える券とする考えはある。あくまで有料の屋内施設に限定している。

委員 キッズマジックだけではなく、今後はいろいろな施設の利用も検討していただきたい。

事務局 今後、検討していきたい。

委員 キッズマジックの利用料金は現在いくらか。

事務局 一人一回 880 円である。付き添いの保護者 1 人分は無料、2 人目分は 880 円となる。

委員 子ども 3 人だとおおよそ 2600 円ということか。

事務局 その通りである。利用券事業の対象者は小学 2 年生までとしており、一人当たり 5 回分の利用券を発行させてもらっている。

委員 以前は安くて利用しやすかった。料金の値上げは市のほうで決めるのか。

事務局 キッズマジックは、柏崎ショッピングモールの事業であり、市のほうで金額を決定することはない。

会長 全体を通して意見・質問はどうか。

【質問・意見なし】

植木会長 任期満了につき、委員の皆様から一言いただきたい。

【各委員からの挨拶】

4 その他（連絡事項等）

- ・報酬について

5 閉会 子ども未来部長

令和 3 年度の事業評価に関して審議、貴重な意見をいただき感謝申し上げます。支援事業計画について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業もあるが、全国的にもウィズコロナであり、ワクチン接種が進められ陽性者の発生が減少している。3 月 22 日に蔓延防止重点措置が解除されたが、新潟県は陽性者の減少が進んでいない。学校でもクラスターが発生するなど楽観できない状況である。大人の 3 回目のワクチン接種も開始されており、3 月 6 日からは 5 歳から 11 歳の小児ワクチン接種も開始した。令和 4 年度からは柏崎市総合計画後期基本計画において、二つの重点戦略の一つとして「子どもを取り巻く環境の充実」が設定されている。施策の関連として第二期子ども子育て支援事業計画

が挙げられ、関係所管が事業を連携して効果的に進めることが求められている。少子化・人口減少を見据えた小中学校の統廃合計画も示され、今後審議会での検討も予定されている。様々な課題もあるが、本日いただいた意見を活かしてそれぞれの支援事業を進めていきたい。支援事業が実を結び、子ども達の未来が明るいものとなりますよう今後も皆様にはご指導、御協力をお願い申し上げます。

以上